



弥富市長 服部彰文

年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。
市民の皆様が、健やかに丁酉年（ひのととりどし）の新年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、市制十周年にあたり、新市誕生からの道のりを市民の皆様と振り返り、喜びを分かち合うとともに、次の十年その先を見据えた市政運営に取り組んだ一年でありました。

市制十周年記念式典におきまして、市の豊かな自然環境のもと、健康づくりを意識して、健やかで心豊かに暮らすことが私たちの願いであり、私たち一人ひとりがより良い生活習慣を心がけ、ともに支えあい地域社会全体で健康づくりを進めていくため、「健康都市宣言」を行いました。

さらに、市の魅力を全国に広くPRし、市のイメージアップを図るべく「弥富市広報大使」を設置し、美術作家（金魚絵師）の深堀隆介氏と劇作家のやとみまたはち氏に委嘱を行いました。今後もお二人の一層の御活躍が期待されるところであります。

また、災害に強いまちづくりのために十一月六日には、参加人員二十人による愛知県・弥富市津波・地震防災訓練を、県を始め関係七十一機関の参加協力を得て実施することができ、行政関係機関と地域住民等の合同訓練を行うことにより災害時における総合防災体制の確立及び地域住民の防災意識の高揚を図る事が出

来しました。

新たな年を迎えるに当たり、我が国の急速な人口減少・少子高齢化が進展する現在、地方経済の再生、活性化を通じて、安心して出産・子育て出来る環境を整備することは喫緊の課題であり、当市といたしましては第一次総合計画のもと、地方創生「弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にスピード感を持って全庁挙げて邁進してまいりますとともに、行財政改革につきましても積極的な推進を図ることとし、市民ニーズを見極め、確かな根拠を持つて質の高いサービスを提供することができるよう、未来志向の経営感覚のもと、改革に取り組んでまいります。

また、新庁舎建設事業につきましては、工事発注に向けて関係機関との協議を迅速に進めており、今後も安心で安全なまちづくりの拠点として、また、地域活動の拠点とし皆様と親しんでいただける新庁舎の早期完成を目指し全力で取り組んでまいります。

結びに、すべての市民の皆様が、ふるさと弥富への愛着や誇りを深められ、新たなまちづくりへの一体感が醸成されるよう市政運営に取り組んでまいりますので、本年も相変わらぬ御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が、市民の皆様にとりまして、素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

平成二十九年元旦



弥富市議会議長 武田正樹

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げますとともに、日頃より、市政の発展ならびに議会活動に対して御支援と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、平成二十八年二月に市議会議員一般選挙より議員定数十八人から十六人となり、新たな議会がスタートしたところであります。私も議長に就任して早くも十ヶ月が過ぎようとしており、初春を迎え、弥富市の更なる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

振り返ってみますと、昨年の日本は、地震・台風、豪雨等、各地で大きな災害に見舞われた年でありました。そのような中、幸いにも本市におきましては、特に被害もなく過ごすことができました。とはいえ、いつ災害に見舞われるかわからない今日、常日頃から災害対策に万全

を期しておく必要があり、市議会と致しまして、今後とも災害に強いまちづくりに積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

二十一世紀の分権時代の更なる推進に向け、地方再生が求められる今日、地方自治体の自立自立が一層重要となっております。市民の皆様の負託に応えることをめざし、今後も不断の努力をもって議会活動を推進してまいります。そして、市政の課題解決に向け、市民の皆様と一緒に、どうか市議会に対し、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が市民の皆様にとって実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

平成二十九年元旦